

## 経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和5年10月5日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	15時29分	6 : 15
場 所	委員会室			
出 席 者	武藤委員長・松島副委員長・川原委員・川股委員・早坂委員・吉永委員・柏野委員 傍聴議員： 生本議員、新岡議員、太田議員、宮議員、小林議員、三上議員			
説 明 者	副市長、経済部長、建設部長、水道部長 外18名	傍聴者数	0人	
事 務 局	議会事務局長、同次長、庶務担当主査	記 者	人	

### 会 議 の 経 過 事 項

	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。</p> <p>●日程1．現地調査について 市道認定路線（市道南40号線、41号線）</p> <p>日程1．現地調査について 終了</p> <p style="text-align: center;">10時25分 休憩</p> <p style="text-align: center;">10時31分 再開</p> <p>●日程2．付託案件審査について (1) 議案第11号 市道の認定について 【質疑】 なし</p> <p>柏野委員 採決して可決でお願いいたします。</p> <p>吉永委員 採決で可決でお願いいたします。</p> <p>早坂委員 採決で可決をお願いします。</p> <p>川股委員 採決して可決をお願いします。</p> <p>川原委員 採決して可決でお願いいたします。</p> <p>松島委員 採決し可決をお願いします。</p> <p>武藤委員長 それでは、全員が本案を採決し、原案可決すべきとの意見でございます。お諮りいたします。本案については討論を省略して、原案可決すべきものと決定することにご異議ございませんか。</p> <p>各委員 (「異議なし」の声あり)</p> <p>武藤委員長 ご異議なしと認めます。したがって、本案は可決すべきものと決定いたしました。</p> <p>【結果】 可決すべきもの</p>
--	--

<p>柏野委員</p>	<p>(2) 陳情第7号 ルルマップパークゴルフ場に係る土地利用計画の見直しを 求める陳情書について</p> <p>【質疑】</p> <p>① 前回の委員会では、パークゴルフ場は、何ホール削減するかは答弁いただ いていません。陳情の内容を見ると、削減は何ホールかが重要な論点だと思いま すので、現時点で何ホール削減し、何ホールにしようとしているのか伺います。</p> <p>② パークゴルフの利用者の減少が、今回の構想の見直しの要因と思いますが、 利用者減少の要因と、利用者を増やすための取組について伺います。</p> <p>③ 前回、利用者団体の意見を踏まえるべきという話をしましたが、前回の委員 会以降に利用者団体の意見を把握をする手段はとられたのか伺います。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>① 構想の中で、パークゴルフ場を残すという絵になっていますが、パークゴル フ場は、キャンプ場や、子どもの遊び場を利用する方、レクリエーションの一つ として、楽しんでもらうということでパークゴルフ場を残すことで整理されて おり、現段階においてどれぐらい削減かはまだ決まっています。</p> <p>② パークゴルフ人口自体が減少しており、高齢化もあり、調査した結果、石狩 管内も平成29年度から減少傾向があり、平成29年から令和3年までの結果 しかありませんが、54%、約半減という結果です。</p> <p>③ 指定管理者がPR等を行っていますが、なかなか人数が増えていません。利 用者団体の意見を聞くという話ですが、パブリックコメントを実施しています。 さらには、窓口に来られた方々に対し、対応しています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>④ ①パークゴルフを残す絵になっているが、レクリエーションとしての整理と いう話からすると、36ホール残すのではなく、もっと少ないのか伺います。</p> <p>⑤ ②石狩管内で、半減に近いということですが、その数字がどこから示された のかわからないのと、その数字があるのであれば、お示してください。恵庭市 としては、指定管理者制度のもとでパークゴルフ場の運営をしていると思いま すが、過去の数字は、5年前で言うと、平成29年、4万4,821人というの がパークゴルフ場5施設の合計数です。経年ですと、確かに平成30年、4万 313人ですが、コロナ前の令和元年、3万8,656人に対し、令和4年、 3万6,093人でかなり回復しています。それに対し、ルルマップの人数は、 令和元年と比較しても、2割以上3割近く減少していることを考えると、パー クゴルフ人口の減少ということだけではなく、指定管理者の取組の問題も中 には含まれているのではないかと思います。その点も含めてお考えを伺います。</p> <p>⑥ ③昨日の厚生消防常任委員会でも、駒場体育館の廃止に伴うスポーツ振興に 関する考え方のお話がありました。恵庭市として、まちづくり基本条例やスポ ーツ振興まちづくり条例を持っている中で、スポーツ環境に大きな影響を与 える政策の変更にもかかわらず、スポーツ振興まちづくり審議会や競技団体の話 を聞いていないのは、手続きの進め方として妥当なのかお伺いします。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>④ レクリエーション施設として残すということで、まだ決定していません。</p> <p>⑤ 石狩管内ですが、昨年度、各市町村に調査しています。私どもの課において、 各市町村に調査した結果、利用者数が減っています。また、スポーツ課が所管 するパークゴルフ場は減ってはならず、ふれらんどは減っていますが、原因は</p>

<p>柏野委員</p>	<p>調査できていません。というのは、普段の場合7割が市外ということもあり、市外のお客様が減ったことが要因だと思っていますが、ただその理由については調査できていない状況です。</p> <p>⑥ 意見を聞くべきということもありますが、後ほど報告する予定ですが、パブリックコメントで9件の意見を聞いています。様々な意見があり、これをもとに進めていき、課題を解決していきたいと考えています。</p> <p>⑦ ④現時点で決めていないという話であれば、単純に市民の意見を踏まえて判断をすればいいと思いますが、であれば36ホール残すことも十分に可能だということでしょうか。最後にお伺いします。</p> <p>⑧ ⑥パブリックコメントの資料4で、料金に関する意見を見ていると、今の答弁からは、直すべきは施設のあり方というよりは、むしろ料金とか、運営主体による経営努力の部分こそが先に直すべきではないかと思いますが、そうではなくてハードを直さなければいけないと判断した理由を最後に伺います。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑦ 現基本構想では、ターゲット層、ファミリー層、キャンプですとか、若返ることによって施設の集客、収益に繋がることを目的としており、基本構想とは違う結果になることが予想されます。それについては収益や集客の人口は減るという予測もありますので、現段階では、お答えすることができません。</p>
<p>嘉屋経済部次長</p>	<p>⑧ ハード面を先に直すというお話がありましたが、この基本構想、提言いただいたわけですが、課題として広報宣伝不足、利用者ターゲットが定まらない、集客、収益性が高くないということを観点に、議論を進めてきました。その中で目標とする姿として、集客、収益性が高い施設、公園を目指しましょうということでの提言をいただき、基本構想をまとめてきたところですので、ハード面を先にやるのが全てとは考えておりません。</p>
<p>江川経済部長</p>	<p>⑦⑧ 内容については今説明した通りですが、全体的な考えとして、構想案を策定し、これから事業に着手するという段階にあり、今回陳情が出たことも含め、現状として大きな状況に変化があったと捉えており、そういったことも踏まえ、実施の着手が遅れるということも考えられますので、全体を含め、現時点では我々としても、判断に苦しんでおり、その辺をお含みいただき、審議をしていただきたいと思います。</p>
<p>川股委員</p>	<p>① この土地利用の計画を考えているときに、盤尻地区にある民間のパークゴルフ場はまだ健在でやっていたかと思います。噂ですが、閉鎖すると言っている人もいますが、市としてどのように聞いて、どのように捉えているか伺います。</p>
<p>嘉屋経済部次長</p>	<p>① 盤尻地区にある民間のパークゴルフ場の動向ですが、今年度いっぱい閉鎖するとはお聞きしております。</p>
<p>川股委員</p>	<p>② そうすると指定管理でやってる中央、河川敷は残っているけども、1ヶ所だけではなく複数箇所です。今の現状でできるということですね。ルルマップは平坦な土地で、難易度があまり高くなく、初心者でも長いホールでも楽しめるようなコースでした。そういった部分も考慮し、まだ何も決まってないということですので、このまま推移を見て、しっかり判断するべきと私は思っています。</p>

	(質疑終了)
川 股 委 員	ただいま民間の閉鎖のことも確認できましたし、パークゴルフの推移を見ながら、どのように今、協議をされてる方、パークをされてる方の動向も見据えて計画を再考していくべきだと思いますので、継続審査をお願いします。
川 原 委 員	今回、高齢者の団体から、あくまで36ホールが必要と。レクリエーションと表現され、36ホールで競技性を持って意欲を高めたいと前向きな姿勢が表れています。ただ、中央では安くプレイできますが、常に魅力を増していくには、少なくとも2か所でやりたいと。盤尻地区と並行してやっていたと想像もします。盤尻地区がなくなったとき、高齢者がこれからパークを楽しんでいくとなると、ルルマップは必要という判断で、陳情が出てきたと推察します。パークゴルフ協会からもそのような意見を私は耳にしています。利用者が減って収益が上がらないのは感じていますが、令和2年、3年、4年と、コロナで全くしなくなったという経緯があります。若い方はすぐ復活するでしょうが、高齢であり、次に行こうとなったときに、やはり足腰が重くなっていく気がします。そのことも影響しているのと推察します。高齢者の方がパークをして元気になっていく、これは恵庭市の特徴です。元気なお年寄りが恵庭で生活していただく、その手段としてパークゴルフが、今まで恵庭市の方針として、実行されていたものだと認識しています。介護保険も黒字を出し、8億円という介護準備金も蓄積できるほど、恵庭は道内でも有数な高齢者を大切にすまちはです。コロナが収まった時代、来年、再来年この陳情をいただいた皆さんが、ルルマップをいかに使っていただけるか、その推移を見ながら判断をあと1年、2年、そして部長も、決断する場所じゃないという考え方をお持ちだと、私はそれに賛同しますので、将来ルルマップをどう使っていかは、少なくとも1年2年は経過、経緯、売り上げ状況、何が本当に悪くて、お客さんが利用いただけないのかを突き詰めていく必要があると思いますので、継続で様子を見させていただきたいと存じます。
松 島 委 員	継続をお願いします。理由は、今年度で民間が閉鎖になるということです。また、高齢者の健康づくりや生きがいづくりの場でもありますので、1年2年というか、状況を見ながら今後進めていくべきだと思います。
柏 野 委 員	私も、継続審査とすることについては賛成します。ただ、理由としては、若干違い、推移を見守るということではなく、行政として構想を固めていく段階で、競技団体の方からの意見聴取が不十分です。加えて、陳情者としては、計画を見直すべきだと言っていますが、どこに着地点があるのかが、陳情の文面だけでは判断できないところがあり、私は陳情者にも来ていただき、委員会として、競技団体の方にも来ていただき、意見を交わしていく中で結論を見出していくべきだと思いますので、そういう意味で継続審査とすべきだと思います。
吉 永 委 員	継続審査をお願いいたします。近隣のパークゴルフ場の情勢変化、コロナの影響を29年から令和4年度のデータで54%減ですが、令和2年、3年、4年のデータはまさしくこれらの時期ですので、経過を見守る必要があります。
早 坂 委 員	継続審査とすべきだと思います。

<p>武藤委員長 各委員 武藤委員長</p>	<p>全員が継続審議でございます。お諮りいたします。本案については討論を省略して、継続審査とすることにご異議ございませんか。 （「異議なし」の声あり） ご異議なしと認めます。したがって、本案については、さらに審査の必要があるため、継続審査とすることに決定いたしました。</p> <p><b>【結果】</b> 継続審査</p> <p>日程2. 付託案件審査について 終了</p>
<p>西中経済部次長</p>	<p>●日程3. 所管事務調査について 1) 報告事項 資料説明 事故等発生（処理）報告について</p> <p><b>【質疑】</b> なし</p> <p>日程3. 所管事務調査について 終了</p>
<p>市川農政課長 上山商工労働課長 廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>●日程4. 経済部関連 1) 報告事項 資料説明 ①木育ファーストトイ事業について 資料説明 ②シン・えにわん産業祭2023 in はなふるの開催について 資料説明 ③新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に係る経済対策について 資料説明 ④「盤尻地区観光まちづくり事業化構想（案）」及び「恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんど基本構想（案）」に係るパブリックコメントの実施結果について 資料説明 ⑤恵庭夏祭りの実施について</p>
<p>柏野委員</p>	<p><b>【質疑】</b> ① 資料②、シン・えにわん産業祭について、出展企業数の推移を伺います。 ② 推移をお聞きすると、多分減少していると思いますが、減少しているとすれば、減少した要因について伺います。 ③ 出展企業の側からすると、シン・えにわん産業祭に出展することで、どのようなメリットがあるのか伺います。 ④ 資料③、商品券事業に関し、過去に配布型、購入型など様々やっているとありますが、参加事業者数の推移について伺います。 ⑤ 参加事業者の中で、特定店舗と特定店舗以外の内訳を伺います。 ⑥ 資料④、パブリックコメントをしても意見が集まらない中、今回非常に多くのご意見が集まっており、今回募集をする上で何か工夫をされたのか伺います。 ⑦ パブリックコメントでのご意見ですが、盤尻地区の観光まちづくりに関して</p>

<p>上山商工労働課長</p>	<p>の意見の多くは、例えば1番、2番、4番とか、盤尻ではなくて、イチャンコッペや漁岳など周辺の観光資源に関しての情報が寄せられているのに対して、受け止めとしては盤尻地区の観光振興に活かす形で、何か回答がかみ合っていないと思いますが、その認識について伺います。</p> <p>⑧ ルルマップのパブリックコメント、4ページの5番で、散策路の駐車場に関しての意見、要望が寄せられています。改善に向けて取り組んでまいりますという回答ですが、実際にどのような対応となったのか伺います。</p> <p>⑨ 資料⑤、今回7つの全ての事業を実施し、6万3,000人という延べ人数の方が参加しましたが、コロナ前との推移で見たとき、それぞれの事業に関して、参加者数はどのような変化になっているのか伺います。</p> <p>① 前年度は45、今年度は35となっています。</p> <p>③ これからアンケートの分析をしますが、基本的には企業PR、そういったことにメリットを感じているのではないかと分析しています。</p> <p>④ 令和3年度が406、令和4年度が391、今年度は現時点で355の店舗が登録いただいています。</p> <p>⑤ 大規模店舗の内訳が令和3年度、今手持ちでございませんので、令和4年度と5年度はいずれも46件となっています。</p> <p>② 出展数の減った要因は分析していませんが、他のイベントと重なって断られた件数が多くあり、後は土曜日に開催ということで、働き方改革で従業員を出せないという理由でお断りされた事業者も何社かありました。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑥ 今年度より生活環境部で、パブリックコメントの手法を一部改定しています。例えば、広報において事前の周知、今年度こういうメニューを予定していますと、さらにはパブリックコメントの前月には、来月からパブリックコメントをやりますという事前周知をした上で行っていることや、ハープというシステムを利用した、答えやすさ、回答のしやすさといったことで、意見を多くするための方策を、生活環境部で行っています。</p> <p>⑦ イチャンコッペの山自体は、恵庭市内にある山です。ただ登山口は千歳市になりますが、周辺の山々についても、登山という意見がかなり多かったので、現在の登山できるような状況や、そういうことも含めたマップによって、周知をしていければと考えています。</p> <p>⑧ 散策路ですが、停めたかったときに指定管理事業者から停めては駄目ですよといわれたものですから、これについては直接事業者に都市公園である旨を伝えた上で、皆さんが止められる駐車場であるという指導をしたところです。</p> <p>⑨ 6万3,000人という実績ですが、現在、データを持ち合わせておりません。またこのデータも過去にさかのぼると、令和元年度という3年前となりますので、あるかどうかも含めて確認したいと思います。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>⑩ ①出展企業数、去年から見ると10減ってます。過去の推移を見ると、平成27年は比較的少なくて43でしたが、平成30年に57社の72ブースが出ています。これは総合体育館での開催でした。令和元年は、市民会館で開催して、47社49ブースが出ていて、令和元年の来場者数が多分3,500人だと思います。平成30年は、多分5,800人が来場されたと思うので、企業が</p>

	<p>らすると、出展がどんどん減っています。今回、ほかのイベントと重なって断られたということですが、企業としては結局メリットが、行政が思っているものと合致していないからメリットを感じなくて、出展を止めているのではないかと考えると、これからアンケート分析をするとのことですが、そののメリットをきちんと感じられるようにしない限り、企業の出展は増えていかないし、そうすると、このシン・えにわん産業祭の事業目的は達成されないのではないかと思います。このまま継続すると、何かよくわからないイベントになってしまうので、そこでの見直しが必要だと思いますが、その点について伺います。</p> <p>⑪ ④⑤今、数は406、391、355で、登録店舗数はどんどん減っています。前回と今回の大規模店舗数は同じ46ですから、結果として小規模店舗がどんどん参加を止めている状況だと思います。これも同じようにメリットを感じづらいのかなと思いますが、業種別の小規模店舗の中の内訳を伺います。</p> <p>⑫ ⑦資料④、パブリックコメントに関しての全体的な取組を変えたということで、所管の工夫ではなかったもので、ちょっと残念と思いますが、今回、建設部で、他のパブリックコメントは、ゼロではないがそれほど多くはなく、この案件に関しての市民の関心も高いと思います。これだけ多くの市民の声が寄せられたわけですから、それに対してどう向き合うかが重要になると思います。二つ目にお聞きした、盤尻周辺での魅力を考えると、むしろ盤尻ではないところに資源を投下すべきという意見だと受け止めています。そうすると、今の方向性が、意見とは違う方向だと思っていて、むしろそういった声を受け止めて、登山口が千歳にあるとしたら、そこにうまく連携をするような働きかけをしていくほうが望ましいと思いますが、それについてご所見をお伺いします。</p> <p>⑬ ⑧駐車違反への対応は、改善を促すということなのでそれ以上はないですが、そもそも本来的な利用をしていながら、そういった指摘をされるということは、指定管理者の理解の問題だと思いますので、それについては引き続きしっかりと指導をお願いします。夏祭りについては分かりました。</p>
<p>上山商工労働課長</p>	<p>⑩ えにわん産業祭の見直しですが、アンケート等を分析し、来年度以降、今年度同様の形がいいかも含めて、見直しを随時かけていきたいと考えています。</p> <p>⑪ 登録店舗業種は、概算で申し上げますと、卸小売が約6割5分、飲食業が25%程度で、卸小売と飲食店がほぼ占めています。先ほど一部お伝えしそびれましたが、昨年も商品券の配達を始めてから、三、四十件ほど追加で登録がありましたので、今年もまた配布がありましたので、追加で登録したいという事業者が同程度来るのではないかと分析をしています。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑫ 盤尻地区の集客を目的に行っている事業です。集客への要素として例えばマップで山を紹介することは、盤尻に来てもらうきっかけになると考えており、周辺の山々も含めたマップができないか検討すべきと考えています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>⑭ ⑩えにわん産業祭ですが、見直したいということで、これから分析もするわけですから、どう見直しをするのかがよくわからず、今回の評価をどう捉えているかですが、参加者・来場者が増えたから良かったと捉えているのか、どの程度、本来の目的を達成できたと捉えているのかお聞きしたいのですが、それによって会場や実施の方法は大きく変わると思います。今の方向性は、本来の</p>

嘉屋経済部次長	<p>目的からずれているように思っていて、参加者が増えたから評価できるものではないと思います。そういう意味で、大きな見直しが必要だと思いますが、来場者数や会場、今のあり方のどこを評価して、どこを直すか伺います。</p>
吉永委員	<p>⑭ 来場者が多いというのは、評価項目の一つだと思いますので、担当課長がお答えしたとおり、実際に参加した方々にアンケートをとっており、その集計結果を見た上で、判断させていただきます。</p>
吉永委員	<p>① 資料③、経済対策について、これは緊急対策でこういうことをされると思いますが、前回も同じような対策があったと思います。10月1日から31日まで商品券配布で、現在の配布状況は何%ぐらい進んでいるか伺います。</p> <p>② 前回の計画に比較して、今回は発送まで至るスケジュールが短縮されたのか、それとも同等なのかをお伺いします。</p>
上山商工労働課長	<p>① 随時、配送は郵便局でしていますが、進捗状況は調査していません。終了した段階で報告をもらいますが、現時点で何%かはわかりません。</p> <p>② スタートの時期は、予算が成立した時期が違いますが、手続きにかかる時間は、概ね前年と同等になるようにスケジュールを組んで、配達の様子が早くなりますので、使っていただける期間は長くなっています。</p>
吉永委員	<p>③ ②経済的に物価高騰等でお困りということで、1日でも早く、1週間でもというのが目指すところだと思いますが、何か対策等をとっているか伺います。</p>
上山商工労働課長	<p>③ なるべく早く配りたいということで事務手続きを進めてきましたが、一方で、発送に間違いがあっても困りますので、バランスを取りながらなるべく早く、かつミスのないよう丁寧に行っております。</p>
早坂委員 市川農政課長	<p>① 資料①、幼児に木のおもちゃを与え、なめたりなどの安全性は大丈夫ですか。</p> <p>① 木製遊具の安全性ですが、市の防風林で採取した木は一度、森の輪プロジェクトに送り、安全性の確認検査を行っています。その後、木材加工会社へ送って加工という流れになっていますので、安全認証もきちんと取れています。</p>
早坂委員 市川農政課長	<p>② 親御さんにどんな木を使ってるか、木の名前など知らせているのですか。</p> <p>② ホームページでも森の輪について広報を同時にしています。現在使われているドーナツ状の木製遊具は、トウヒという樹種のものを使っております。</p>
早坂委員 市川農政課長	<p>③ どちらで加工しているおもちゃですか。</p> <p>③ 契約は、今年度に関しましては、岡田建具製作所で製作、加工しています。</p>
川原委員	<p>① 資料③、11弾の経済対策、大変使いやすいということで、2弾あたりから企画された経済対策だと思いますが、今回も利用がゼロです。累計で何件利用されているか、確か500万の利子補給、信用保証協会補填ということですが、改めて確認します。</p> <p>② 資料④、盤尻地区のアンケートを取られていますが、都市計画で東西軸でやっているから、予算を確保してやりましょう。盤尻地区は紅葉のいい場所だということで、市内外にもっと広げていく方法をとりませんか。今回は観光協会のバスツアーですが、それでは広がらない。ダム湖の庭、白扇の滝などでイベ</p>

<p>上山商工労働課長</p> <p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>ントを組む、そして市内外に大きく広げていく。こういう動作をしなかったら、全て計画してるからやってるということに繋がっていくと思います。当初の予算を付けて実行していく、都市計画で決定したときに進める手段です。観光というのは恵庭の産業で大きな部分、やるかやらないか、伺います。</p> <p>③ イチャンコッペですが、千歳側からの登山道ということですが、私はスキー連盟でイチャンコッペをスキー場にしようと、以前登山も含めて体験しました。あそこは千歳側ではなく、恵庭から上っていけるはずですが。この開発は、盤尻の面白さの一つです。これをもう1回深めてみようとしているのか伺います。</p>
<p>川原委員</p>	<p>① コロナ対策の緊急小口対応資金で、借入れを受けた方は8件です。まだ借りている方は6件、2件は完済です。貸付の総額は、8件で2,450万円です。</p> <p>② 紅葉ツアーは、現在周遊ツアーのモニターツアー等も実施しています。意見聴取を終え、取りまとめ中ですが、この結果を見て進めていきたいと思っています。イベントは、どんなことができるか周辺の沿道沿いのヒアリング等も行っており、取りまとめていきたいと思っています。</p> <p>③ イチャンコッペは、登山で進めていきたいと思っていますが、その他のアクティビティはどのようなものができるか勉強していきたいと思っています。</p>
<p>川原委員</p>	<p>④ ①現在、コロナ融資のゼロゼロ融資が返済にきており、滞りがどうなのか新聞報道でしか分かりませんが、その関係とうまくリンクすれば、経営計画を出して融資が受けられると思っていますが、ゾンビ企業でないゼロゼロ融資にする対応、経営計画を出された中に、銀行との連携の部分、使ってくださいというアプローチをしているのか。ゼロゼロ融資の関係も含めて、状況を伺います。</p> <p>⑤ ③イチャンコッペの林道は、そういう認識を持っている方が恵庭にということ、盤尻開発のチャンスとして、恵庭の魅力の一つに繋がっていくと思います。これはどのように検討していくのか。それと3番目の恵庭湖の桜公園、ダム湖の広場の紅葉狩り。どうしたらお客さんが来てくれるのか、どうしたら盤尻が楽しいのか考えてください。時期が終わってしまいます。来年の秋にやるという姿勢で、もう少し所管でも考えましょう。前向きな意見を伺います。</p>
<p>上山商工労働課長</p>	<p>④ 基本的には、金融機関で事業者が借りることになりますが、銀行からは、借りる側にとってはいろいろ状況が違いますので、一番有利なものを借りてもらっているということで、お話を伺っています。</p>
<p>江川経済部長</p>	<p>⑤ 盤尻地区の開発については、基本構想が出ていますので、それに基づいて進めていきたいというのが基本です。先ほどイチャンコッペのお話もありましたが、機会があれば行ってみたいと思っていますし、熊出没の対策、あとダム湖の桜公園、紅葉まつりの関係も、盤尻地区のまちづくりと別に、一般の観光の事業として、例えば周遊ツアーなどの中に組み込んでいけるかという考えは持っていますので、もっと積極的に進めてほしいという意見ですから、盤尻のまちづくりの事業とマッチするかわかりませんが、できるものについては来年度から積極的にやっていきたいと考えています。</p>
<p>川原委員</p>	<p>⑥ ④銀行が有利なものを進めるのは当然で、うちの経済対策は有利でないと銀行は判断しているということですね。市民の税金を使って企業を残す、それを銀行で一番に進めてもらうのが、所管の考えることです。市民の税金を、企業</p>

江川 経済部長	<p>が生き延びるために使い、貸し倒れしないようなところに貸す、それを判断するのは銀行です、その原資を出すのは恵庭市です。銀行は貸して利益を得るため、金利が安い。恵庭市は、金利は負担します、税金で。だけど銀行は儲かりません。まずは恵庭市のお金が借りやすく、そして生き延びて繁盛してもらい、そういう経済対策をつくってください。本当に借りられる、借りてもらい、一番に選択できる融資制度をつくってください。ご答弁願います。</p> <p>⑦ ⑤盤尻地区の観光まちづくりは、部長から丁寧な言葉をいただきましたが、観光とまちづくりは別個で考えるという意味をわかりやすくお願いします。</p>
上山商工労働課長	<p>⑦ 観光とまちづくりは別ということではなく、盤尻地区のまちづくりと通常の観光施策はマッチするか分かりませんが、バスツアーや紅葉ツアーは通常の観光施策でできるのであれば、積極的にやっていきますという意味です。</p> <p>⑥ 今後、近隣自治体の融資制度、市内事業者の経営状況等の調査を行いながら、本市の融資制度の見直しについて検討したいと考えています。</p>
川 股 委 員	<p>① 資料①、木育トイについて、令和4年4定だと思いますが、補正予算542万5,000円で可決しています。今回の決算書に載っていたか、お伺いします。</p> <p>② トウヒという樹木を使っているということでした。その木ですが、恵庭市はほとんど国有林ですが、森の輪の事業には地域の木を使うとうたっていると思います。今回のトウヒについては、どこで伐採したものなのか、お伺いします。</p> <p>③ 加工については市内の事業者で行ったのかどうか、お伺いします。</p>
市川農政課長	<p>① 決算書の127ページの下段から三つ目の繰越明許費として、542万4,000円書かれていますので、備考欄の決算のところには載っていません。</p> <p>② 南11号の西7線から島松川へ向かってのところに、市で保有する防風林が一部あり、そのトウヒを伐採して、それを原料に森の輪を製作しています。</p> <p>③ 今回、加工をしてもらった岡田製作所は戸磯の軽工業団地の中にあります。</p>
川 股 委 員	<p>④ ②市内の木を切ったわけですから、小学校、中学校にも、巨木が立っていて台風で倒れたことも過去にあります。しかし、財源がなく、それに手をつけることができず、未だにその計画が教育委員会でできてないと思います。また盤尻の学習林など、例えば材料として使える木があつて間伐するとき、今回の環境譲与税が使えるのではないかとということも広げていけると思います。また、木の輪は積み木だけでなく、ほかに市で使えるものを木の加工として使っていけば、使える気がします。今は、この森の輪事業だけですが、ほかにも様々なものが出来ると思います。そうすると、お互いにウインウインの関係になると思います。今のところ、1年間で約910万から940万ぐらい環境税として恵庭市から入ってきます。6年度から本格実施になると、3万何千人か、均等割を払ってる市民税の方かける1,000円でいくと、入ってくる940万より遥かに多い税金を国に持っていかれてしまう。恵庭市としては、それを増やすためにどんな方法があるのか、決まりでは民有林の面積とそれに携わる業者の人数などで割る計算式があると聞いています。それを増やすには、業者を増やすしかないのか、あるいは島松沢の一部に民地があり、幼稚園に貸しています。そういうことも考えなくてはだめですし、譲与税を増やす対策、施策などがあ</p>

市川農政課長	<p>ればお伺いします。</p> <p>⑤ ③建具屋で、この加工ができるところが他にもあれば、市内の業者、様々なところで加工ができると思います。そういったことも今後考えていくのか。先ほど言った、木の伐採、市内の木であれば切ることができるのではないかと、譲与税を使えばできるのではないかとということも含めて、お伺いします。</p> <p>④ 一般質問でお答えした4種類の木が、木製遊具として使われている樹種です。今回、森の輪に使っているトウヒという樹種は比較的柔らかく、子どもが嘔むには適している木材で、トウヒに限定して今回使っています。また樹種が市の防風林の中にあるということで採用した経緯となります。また木育ファーストトイと同時に、木の利用という形で緑のふるさと森林公園の遊具、階段の整備を進めていますが、その後の利活用を考えたときに、いろんな市内の木を使ったものという考え方も繋げていけるように内部調整しながら、何ができるかを協議したいと思います。しかし、学校の木に関しては、今回の環境譲与税では森林整備を含めて、維持管理に使ってはいけないというものがあるので、明らかに木育だったり遊具だったり、木の利活用がこういうものに使うからその原料として使うという整理がついたものに限り、伐採ができると認識しています。</p> <p>⑤ ほかでもできる業者がいれば競争入札で今後もやっていきたいと考えていますので、ほかの業者がいれば、可能性が広がるものと考えています。</p>
西中経済部次長	<p>④ 交付額を増やす考えですが、こちらに関しては、民有林の面積、人口割等によって国、道から配分されておりますので、そういう方法があれば検討しながら、増やす方法を考えながらやっていきたいと思います。</p> <p>(1) 報告事項 終了</p> <p>(2) その他所管事務調査について</p>
柏野委員	<p><b>【質疑】</b></p> <p>① 今回、総務文教常任委員会で指定管理者のモニタリングの報告がありました。経済部では、ルルマップ自然公園ふれらんどのモニタリングですが、モニタリング報告で一番驚いたのは、ルルマップに関して利用者のアンケートがついていません。評価シートの中でアンケート調査も踏まえてと書かれていますが、アンケートはどのぐらいあって、どういった内容だったのか伺います。</p> <p>② モニタリング報告も、ルルマップ自然公園ふれらんどは去年と比べてどう良くなったのか、全くわかりません。時間や人員配置ということが書かれているだけで、これで何を報告したいのか、この報告によって、何を委員会、議会から意見を求めたいと思っているのか、全く理解できませんが、所管課としてはこの報告で評価ができると判断しているのか伺います。</p> <p>③ はなふるにおいて、以前新聞報道で、はなふるの中で出た草木の廃材について堆肥化するという報道がありました。この取組の現状について伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>③ はなふるの管理で出た花殻などを、かわまちエリアで堆積し肥料化できないかという試験的な実験を本年度から行っています。</p>

<p>柏野委員</p>	<p>①② モニタリングのアンケートについて、現在、手持ちありませんので、何件、どのような内容か、押さえていませんが、所見をいただいていますので、そちらを報告させていただきたいと思います。モニタリングの内容ですが、配置や使用料の収入の増ということをいただきながら行っていますが、この報告を受けて今後の集客に努めていきたいというモニタリングは行っていますが、ペーパーではそのような報告になっています。</p> <p>④ ②指定管理者のモニタリングですが、直営でやっているときと違い、議会や市民からは評価が非常に見えづらいと思います。だからこそ、年に1回13の施設のモニタリングの報告を上げてもらい、評価検証をしていくことが重要だと思います。特に、今回大きな見直しを行っていく上で、過去の資料を見ても、なかなか評価検証するだけの十分な材料が揃っていないように思います。事業者によって報告の内容は様々違いますが、そこをしっかりと見るのが所管課の役割だと思うので、ぜひそこを改善してほしいということと、アンケート、今手元にないということで、ぜひ委員会にも報告をいただく中で、今後のあり方について議論を深めていく段階にありますから、検証をしっかりとしてほしいと思います。その点についてお考えを伺います。</p> <p>⑤ ①アンケートについて今ないということですが、苦情だとか利用者の意見がどういうものが出ていて、それに対してどういう対応をしているのか伺います。</p> <p>⑥ ③はなふるにおける廃材の堆肥化は、今年度から行っているとのことですが、事業を進めていく上での課題と、今後の見通しについて伺います。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑥ はなふるの中の花殻で、仮に堆肥化された場合は、公園内、はなふる内で活用できないか検討しています。課題は、試験的なものですので、きちんと発酵して、肥料になるかという問題があります。これについては様子を見ながら、進めていきたいと思っています。</p> <p>⑤ 改めて、報告等をさせていただきたいと思っています。</p> <p>④ モニタリングの中に書かれてないということですが、これについては他の部署や契約課に相談し、どのようなものを他の地区で出しているのか検証したいと思います。さらに、指定管理者からの意見ですが、アンケート以外において、現在意見等はいただいていますので、パブリックコメントの中にある駐車場が使いづらいということは、直接上がってきた意見でして、それ以外については指定管理者からの報告は受けていません。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>⑦ ④指定管理者のモニタリングでお聞きした意見は、指定管理者の意見ではなく、利用者がどんな意見を指定管理者に寄せているのかということで、市に直接寄せられる意見も大事だと思いますし、ただ通常は、管理している指定管理者にそういった意見が届くと思いますので、そういった意見が市にどのように来ているのか、その意見に対してどう答えているのかが、検証をしていく上で重要だと思いますので、あわせてご報告をお願いします。</p> <p>⑧ ⑥今年度からということで、発酵の状況なども見ていく必要があると思いますが、これがもしうまくいった場合、これだけ広大な面積があるガーデンですから、例えば市民が花殻等を持ち込んで堆肥化するというのも試験的に取り組んでいくことができないのか伺います。</p>

廣瀬花と緑・観光課長	<p>⑦ 意見等集約していきたいと思っています。</p> <p>⑧ 現在、試験的に行っているということと、市内ではどれぐらいの量が出るかわからない状況で、管理課で行ってるボランティア袋の草木などもあり、わからない状態で受け入れるという判断は難しい状況です。</p>
川原委員	<p>① 9月に報告のあった、はなふるのバーベキューについて、現地を見ましたが、設備は用意されているが、営業があまりないような気がします。せっかく用地を借りられて、バーベキューをやる時はセンターハウスを活用してもらう形で、営業努力はガーデンシティ恵庭がやるのかわかりませんが、活用状況と、誰が営業し、はなふるを活性化しようと考えているのか、実績とその担当について伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>① バーベキューは指定管理者の自主事業であり、ガーデンシティで、ホテル利用者やRVパークの方が来ています。その方に、バーベキューをやる場所がありますよ、ということも報告しています。恵庭市も、バーベキューを行える場所もそうはありませので、市のホームページなどで広く周知しています。活用の状況ですが、予約を受けてやっています。天候に左右されますが、最大で10件受けたことがあり、ただ雨が降ってキャンセルということもありますが、土日に今試行的にやっていますが、賑わっているという状況を聞いています。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程4. 経済部関連終了</p> <p style="text-align: center;">12時07分 休憩</p> <p style="text-align: center;">13時10分 再開</p> <p>●日程6. 水道部関連</p> <p>1) 報告事項</p>
畑経営管理課長	<p>資料説明 ⑬恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略の進捗状況について</p> <p>資料説明 ⑭恵庭市下水道ビジョン・経営戦略の進捗状況について</p> <p>資料説明 ⑮恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略の中間見直しについて</p>
柏野委員	<p>【質疑】</p> <p>① 資料⑬、1ページの財政計画、収益的収支で計画値よりも料金収入が増収したとあります。3ページの料金収入は三角がついていますが、そうすると家事用外が増えたが、それ以上に家事用が減少したということでマイナスの表記になっているということか伺います。</p> <p>② 4年度の計画と決算のずれというところで、営業費用の減では、修繕費の減が大きいのと思いますが、1,500万円修繕費が減少した要因と、経費の中のその他で1,200万円増加しています。この要因を伺います。</p> <p>③ 営業費用の中の(3)減価償却費が約2,400万円減少の要因を伺います。</p>

畑 経営管理課長	④ 資料⑭、大枠については1ページ目に書かれているとおりに思いますが、3ページの収益的収支を見ると、料金収入が増えている一方で営業費用は減少しており、この増減についてお聞きしたいのですが、修繕料も約2,200万円減少している、材料費については1,200万円、その他は約2,500万円減少していますが、それぞれの要因について伺います。
平井 下水道課長	① 財政計画、1ページ目、料金収入家事用外が増収となって、全体では、ほぼ同等ですが、家事用の料金について、令和4年度が、決算で1,600万減少しました。ところが、家事用外は2,700万の増加、トータルで1,100万の増収。料金収入が減少し、家事用が増加したという委員の見込みのとおりです。
長谷 上水道課長	④ 3ページ、収益的支出の差額ですが、修繕費は経営戦略の計画値は過去の最大値で見えていましたが、そこまで決算では修繕に対する事業の支出がなかったため減少しています。過去最大値で計画案をみていましたが、実際に修繕が発生せず、決算約2,000万減少しています。材料費は、マンホールの蓋などの材料費を営業収支で見込んでいましたが、物の交換ということで資本費に計上できないか検討し、資本費に入れるということがありました。大きなものとしては材料費が余剰の予算に、資本を収支に移行したことで減少になっています。経費のその他ですが、大きなものとしては下水道等の包括委託に移行する時期であり、そちらの予算を見込んでおりました。予算額から入札差金等も発生したので、決算としては下がっています。
畑 経営管理課長	② 修繕費は、漏水修理や水道施設などの修繕で計上しています。特に、漏水修理はこの中に800万円ほど計上していましたが、決算としては200万程度しか使わなかった、漏水が少なかったので減となっています。
柏 野 委 員	② 修繕費その他の1,200万の減収は、その他の部分が、上に列記している科目、動力費、修繕費、材料費以外がその他に印刷製本など、いろんな部分が含まれています。その部分が相当数ある科目ですけれども、それが全体的に減少した、特化した特殊要因はありません。それぞれが、例えば入札減などいろんな部分で減少したということになっています。 ③ 減価償却費の減少が、令和1年度から3年度に投資したものが、4年度の減価償却に跳ね返っています。管路は多少の減少がありましたが、基本的に大きかったのが料金システム、財務会計システム、その他ソフトウェア、給水車の整備、計画の変更による固定資産購入費の減、これが減価償却にはね返る部分が低くなった。計画の中では投資料金システムやソフトウェアの更新、様々にやる予定でしたが、それが減少したことで減価償却費も減少しています。
平井 下水道課長	⑤ ④説明の中では、材料費の中でマンホールの蓋だとか収益的支出から資本的支出に移ったということですが、一方で資本的支出で見ても、全体的には下がっている。これは建設改良費ということですか。全体としての下がり大きいから、その分が増えたとしても飲み込んでいるということでしょうか伺います。 ⑥ 最初の説明の中では、補助金の減額に伴って建設改良費が減少したと書かれていて、これ、補助金下がったから建設改良費下がったのか、建設改良を下げたから補助金が減ったのか、この因果関係、どちらが先なのか伺います。 ⑥ 下水道の事業費は、基本的には国費を見込んで予算要求しています。内示が

	<p>思うようにつかなかったので、工事事業費が下がっているというのが、順序としてはそうなります。</p> <p>⑤ マンホール材料費等が資本的の部分に移っているということですが、資本的収支の委託料に入っています。全体としては、工事費が落ちてるので下がっていますが、委託費も処理場の修繕等は下水道事業団に委託して修繕をしている部分があり、そちらの事業費もかなり大きな額になるため、国費見合いで落ちることもあり、その中で見えなくなっているということです。</p>
川原委員	<p>① 資料⑬、2ページの強靱化で、耐震化率が94.8%ということで水道は非常に好調に進んでいるものと理解しました。そこで、持続の経営安定ですが、令和4年では経常収支比率が110%です。流動比率が260%で、確か水道については、通常の一般会計と違い経常収支比率の見方、考え方が違うと思いますが、それが令和11年度末の目標として経常収支比率100%以上、流動化比率は200%程度と下がってきている、経営の状態が不安定に近づいている形で計画されているように感じるのですが、その説明をお願いします。</p> <p>② 3ページ、減価償却について確認します。長期的スパンで、令和8年、9年、10年、11年と減価償却が大きく取ってあります。この減価償却は投資があって長期で減価償却で次のステップに充てていくわけですが、減価償却を大きく取っても利益を出していこうという動きが見られていますが、令和11年度以降の整備計画、多分耐震化に投資をしたものを回収していくという形になるかと思いますが、令和8年から11年までの間の耐震化が100%近くに上がってきて循環でまたやっていくのか、考え方を伺います。</p> <p>③ 資料⑭、2ページの評価指標、令和13年度末の目標、環境について、分流化工事が令和7年に完了します。それが3ページの財政収支計画に、合流から分流化になったときに、浄水場のダウンサイジングが行われる計画ではないかと。令和13年度ぐらいに行われると私は踏んでいましたが、ダウンサイジングの金額が、この分流化の投資したことにより削減され、浄化槽などを整備するのに、これだけの金額が下がったという数字をお知らせできれば嬉しいなということです。それと、収益的収支、営業収益、令和12年より収入が下がっています。下水道の料金の流入について1ページ目に書いてありますが、人口減少に基づいて多分計算されているのかと思いますが、何人の予定で、どういう試算で、人口減少の数字を見込んで営業収益の計画に当てはめられたのか伺います。</p> <p>④ ダウンサイズサイジングは、4ページの財政収支計画の令和7年度に分流化が完成し、令和13年に建設改良費が7億1,800万という形で、あまり分流化の効果が表れてないと読んだのですが、それについての解釈を伺います。</p>
長谷上水道課長	<p>② 平成8年から11年の間の整備方針ですが、現在、硬質塩化ビニール管の耐震化工事を令和11年度までに行うことで考えており、それを優先的に進めています。平成11年度までは管路は耐震化を進めていくこととなります。ただこれが終わった後、その後40年以上経過した老朽管がどんどん増えていき、そうなると、老朽化更新等が今度整備の主体が変わってくると考えています。その辺は、経営戦略の見直しを行っていますので、その中で若干ではあると思</p>

平井下水道課長	<p>いますが、示せると考えています。</p> <p>④ ダウンサイジングですが、流下後、実際に下水終末処理場に流入する下水水量は、計画では持ってはいますが、実際どれぐらいの水量になるかがわからない状況ですので、そちらは調査した後に分流化が終わり実際の状況を見た段階で、どういったことがダウンサイジング等を含めてできるか検討することを考えてますので、こちらには直接反映されていません。</p> <p>③ 料金収入は、人口ビジョンの数値を基に、有収水量に対する単価でかけています。</p>
畑経営管理課長	<p>① 経常収支比率について、これは100%を超えることとなります。そうすると黒字経営が必須になりますが、基本的には計画年次内格差はありますが、経常収支比率、料金回収率ともに100%を超える黒字経営が原則で、ただ年度ごとに違うのが、例えば令和5、6年で計画している大きな修繕工事が突出していることによって、一過性の利益の低下を招く。そういったときに、経常収支比率も落ち込んではいません。ただし、それも翌年度以降、通常通り戻る形で100%を超える形を維持しています。</p> <p>② 減価償却費の考え方ですが、先ほど、耐震化の部分を言われていましたが、減価償却費は、余剰の支出に対する固定資産の登録です。それに対して翌年度の減価償却が上積みになってきます。基本的な耐震化事業であろうが、老朽化の事業であろうが耐用年数40年と変わりありません。なのでここに関しては、耐震化、老朽化に関わらず、減価償却で費用回収をしていく形になっています。</p>
小林水道部長	<p>① 一点補足させていただきます。一般会計との経常収支比率の捉え方の違いというところがありました。一般会計は、100%に近くなればなるほど、弾力的な自主財源がなくなるということで、財政の硬直化が危ぶまれるため、できるだけ100%を切って、自主財源を自ら行える事業を自由裁量、そうした事業について、お金を確保したほうが好ましいという考え方で、90%や87%を目標にしています。結果的に、企業会計において100%を切れば赤字、100%を超えれば黒字という考え方が基本的にあり、100%を優に超えれば超えるほど余剰に投資する財源が増えるということで、捉え方の違いと解釈していただければと思います。</p>
川原委員	<p>⑤ ①令和4年度の経営安定から令和11年度の経営が悪化しているのではないかと、流動比率や経常収支比率を見て、こういう計画でいいのか、悪化していくという予測のもとでの計画なのか確認します。先ほど減価償却で、強靱化は令和4年度に94.8%の耐震化、これが一番お金がかかるとは推測し、94.8%ということは、そのうち100%に繋がっていくのではと推測し、減価償却がどんどん増えているのはどのような流れなのかという素人的な感覚で質問しましたが、100%新しい塩ビ管に取り替えられる分を全部減価償却でやるのであれば、それはそれで結構ですので、もう少し具体的に安心できる計画をお話いただければと思います。</p> <p>⑥ ④資料⑭、下水道ビジョンについて、分流下が今どんどん進んでおり令和7年になりますが、プラス材料として、分流化が進むことで環境衛生はもちろんのこと、このかかる費用、経営的にもこれは着実にプラス材料だと、人口が減</p>

平井下水道課長	<p>少しでも、プラス材料に繋がっていくということも、これは改めて市民や我々に説明いただいて安心感をお願いできればと考えます。</p> <p>⑥ 分流化は、それが終わりその分についてかなり費用が下がるという、皆さんが安心できることはここでは言えませんが、考えられるのは処理場に雨水が入っている部分の処理に対する金額は下がりますが、雨水の管渠は、今合流管が雨水になるので、その費用についてはプラスに、ここに上がることもありますので、管渠に関する費用は増える、または現状維持ということですので、大きな金額が下がるという状況まではいかないという認識でいます。上がりはしませんが、すごく金額が下がるということはないと、今はとらえています。</p>
畑経営管理課長	<p>⑤ 平成30年から経常収支比率は浮き沈みがあり、ただし、いずれも100を上回っています。また料金回収率も同じような状況です。基本的に経営戦略は、流動比率、流動資産と流動負債の割合ですが、最低200%以上ということで健全経営を目標にしています。令和2年に策定した経営戦略財政収支見通しは、計画値、毎年決算で進捗管理を行い、予算にその不足分を反映させると、修正作業を続けております。資料⑮で説明しましたが、10ヶ年計画になり、3年目から5年目の中間見直しを行います。それに大々的な修正、投資計画、財源計画を見直して、こういった指標値を確保するという作業に入りますので、令和10年までに關しては、健全な経営状況だと考えています。</p>
川原委員	<p>⑦ ⑤⑥安心な経営状況ということで、我々も安心するところです。ただ分流化は物事がスタートしたのは平成26年ぐらいだった気がしますが、その時点ではダウンサイジングによって大きな金額、10億程度の整備費用が軽減されるような話も聞いていましたが、徐々に近づいてくると、話の方向は若干変わって、いかかかなと思っています。確か本当に15本ぐらい分流化することにより、プラスになると思っていました。今の課長の話ではそうでない雰囲気なので、これから気を改めて確認しながらいかないと駄目と改めて思ったことを私の所感として述べさせていただきます。水道のほうも理解しました。水は人間の生活のためには絶対必要であり、よろしくお祈りしますが、黒字を維持していく、120の経常収支比率が100になっても大丈夫だ、260の流動比率が200になっても大丈夫だという安心した言葉はいただきましたが、まとめの中に、それには主要な政策を推進しつつ、有収率や料金回収率の向上を図るという大前提がここに位置づけられています。私が気になっているのは、料金回収は指定管理でしっかりやっているとありますが、その有収率、市の職員が変な栓を開けて無駄な水を流してしまったという事故もずっと私の思いの中にあります。これを位置づけしていくためには、市の職員は常に利益の根源は有収率を上げていくという認識を常に持っていただき、健全な経営が繋がっていくものと思っていますので、そのことについて考えを伺います。</p>
小林水道部長	<p>⑦ 先般の赤水を出した事案も含め、これまでいくつか私どもの初歩的なミスなどに起因するものについて、改めて部内はおろか、建設部も含めた技術職の全職員に、こうした事故事案について周知しながら、技術職員として、あるいは我々も含めた事務職員もそうですが、業務にあたる人間が初心に帰り、また市民の皆様の貴重な財産等はしっかり守り抜いて、無駄なことはしないというの</p>

<p>吉 永 委 員</p>	<p>を肝に銘じるのは当然のことで、改めて内部でも周知してまいりたい。有収率等は昨今90%の前半にとどまっています。ただ、高ければ高いほどいいですが、漏水等の事案事故、たまたま昨年度は修繕に至るまでになっていない事故程度にとどまっていますが、いかんせん地表の外に漏れてくればわかるものが地表の中にとどまっていると、なかなか発見に苦しむところがあり、今後さらに検査の精度を高めながら、しっかり維持管理に努めていきたいと考えています。また漏水等の発見等ありましたら、速やかな対処に努めて貴重な水を無駄に流すことのないよう、改めて努めていきたいと考えています。</p> <p>① 資料⑭、2ページの環境で、基本方針が合流改善と、最初は合流の改善と呼んでいたのですが、主要施策が完全分流化ということで、この合流改善というのは、分流化の推進という意味なのか伺います。</p> <p>② 環境について、完全分流化すると環境に寄与するというのですが、素人でわからないため、説明がいただければと思います。</p> <p>③ 今回の令和4年度の評価、丸になっています。令和3年度が62.45%、令和4年度が72.4%と、毎年12%ずつ改善されていくのかなと思うのですが、単年度の元々のターゲットがいくつで、それに対して100%だったから丸なのか伺います。</p>
<p>平井下水道課長</p>	<p>① 合流地区とは、トイレや風呂などの排水を流す汚水と、雨水が流れる雨水に分かれており、両方同じ管の中に集めて排水するという方式を合流式と言います。現在、市役所の周り約103ヘクタールは、合流の下水道の排水処理方法になっており、これを、汚水と雨水をそれぞれの管に分けるということで、分流という言い方をしていますが、汚水管と雨水管に分けるという工事を実施しています。そういったことで分流化工事ということで、お話しています。</p> <p>② 汚水と雨水が同じ管で流れていますので、雨水が多くなると一部を河川に放流する仕組みになっており、全て処理場に行ってしまうと処理しきれない水が入り、一定量を超えると川に、希釈していますが、出してしまうため、河川に対する環境負荷の軽減や、今、道路の雨水樹も直接合流管に繋がっており、雨が少なきときは臭気が上がってくるということもあり、そういったことの改善にも繋がるということで、環境という分類をしています。</p> <p>③ 整備進捗状況の%のお話ですが、合流地区103ヘクタールのうち、今工事を終わると何%のエリアが分流地区として排水ができるかという、面積割合の数字を記載しており、全部完了すると100%になるということです。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p><b>【質疑】</b></p>
<p>柏 野 委 員</p>	<p>① 下水道汚泥の費用に関し、令和4年度の下水道汚泥の処理状況を伺います。</p> <p>② 国も、下水道汚泥の肥料化の拡大に向けて取り組んでいますが、その中で、重金属の分析を実施すると思いますが、これはどういった分析で、それに対し</p>

平井下水道課長	<p>て恵庭市はどのような関わりを持っているのか伺います。</p> <p>③ 今年、国は各都道府県や自治体に通知を出していますが、下水汚泥の肥料利用についての検討実施状況について、国に対して報告をするということになっていたと思いますが、その報告の内容を伺います。</p> <p>① 2定のときも公開していますが、処理方法は、昨年から変わっていません。</p> <p>② 前回の委員会で、国交省で汚泥サンプルを調査するという募集がありました。そちらに応募しており、恵庭市の乾燥汚泥の資料を調査機関に送り、肥料関連の法律に基づく重金属類の成分調査を行っています。こちらは年4回、資料を送ることになっており、現在2回分の資料を送っています。こちらは年度末、または年明け早々に調査結果が出ると伺っています。</p> <p>③ 下水使用の拡大に向けた調査ということで、今年3月付けで活性汚泥の処分に関する基本的な考え方、下水道汚泥資源の肥料の利用拡大について、国から文書等が出ています。基本的に下水汚泥の資源、下水道汚泥は肥料化を優先することを原則ということで通知が来ています。恵庭市の汚泥処理は、7割は現在肥料化に向けた処理をしており、意図としては合致している施策ということで認識しています。調査の内容は、重金属類の調査をしているか、あと農政部局との協議をしているか、利用拡大に向けた課題や、今後の汚泥処理の方針という内容になっており、今の現象を報告したところです。</p>
柏野委員	<p>④ ③今答弁では、7割が肥料化を既にしてしているということですが、今後その処理方法や処理量、割合などの見直しについての検討はしているのか伺います。</p> <p>⑤ ②調査結果は、年明けということですが、調査結果が出た後の取り扱いは、どのような形での活用、公表を考えられているのか伺います。</p> <p>⑥ 国は、肥料化をし、できるだけ地域の中で循環させることが望ましいということだと思いますが、それを地域の中で活用していく上での課題を伺います。</p>
平井下水道課長	<p>④ 処理方法、今7割ですが、残り3割は焼却ということもあり、基本的にはそれほど課題が生じない限りは継続するという考えています。</p> <p>⑤ 重金属類の調査結果は、どのタイミングで公表するかは、今は何とも言えないですが、市でも調査しており、結果を見ながら検討していきたいと思います。</p> <p>⑥ 地域の中で処理するのが、市町村単位なのか北海道単位なのか、道央圏の単位なのかまでは明言されていませんので、今は何とも言えません。地域、広域で処理できるのであればいいかもしれないし、市内で使えるのであれば、それもいいかと思いますので、その辺りは情報収集しながら検討したいと思います。</p>
柏野委員	<p>⑦ ④3割焼却はそのままということですが、国は、再資源化として肥料化以外にもリンを抽出する方法も提案しており、国際情勢も含め、そういった活用方法があれば、検討は、むしろ地域の循環を高めていくという意味では価値があることかと思いますが、そういった検討についての課題を伺います。</p> <p>⑧ ⑤公表は、今は考えていないということですが、地域で活用を進めていくとき、数値や安全性を明確にすることが、地域の理解促進にも繋がっていくと思うので、公表は積極的に考えていけばいいと思いますが、考えを伺います。</p> <p>⑨ ⑥地域の範囲が限られていないということで、確かに、給食に関し、できるだけJ A道央の範囲でと思うところですが、運搬コストを考えたとき、できる</p>

<p>平井下水道課長</p>	<p>だけ狭いエリアの中で発生源に近いところだとどめるのが、フードマイレージ的な考え方からもいいと思いますが、農業だけではなく、花のまち恵庭を考えたとき、はなふるや、家庭でのガーデニングや、そういったところでの活用も考えられますが、そういった部分での拡大の考えがあるのか伺います。</p> <p>⑦ 汚泥の処理方式の変更ですが、リン回収も他の自治体でやっているのは情報として入っています。リンを回収するために設備投資が必要ということもあり、経費の関係もありますので、総合的に勘案してということになります。</p> <p>⑧ 重金属の公表後、市内での利用ということもありますが、下水道自体が広域化共同化という国交省としての流れもあり、処理場をたくさんつくるよりは、1ヶ所にまとめたほうが、建設費、サイクルコスト含めて安いという考え方もあり、そういった規模が適正規模なのかは、そういったところも考えながらやっていかないといけないと思います。</p> <p>⑨ 市内の利用で、乾燥汚泥をそのまま使用できればいいんですが、成分はばらつきがあり、そのまま肥料登録して使用とは現在なっておらず、一度、肥料を作成できる業者に渡して、成分調整をして肥料として使うというのが今の流れで、肥料化の過程を、どこの団体がどう担うのかが重要になると思いますので、そのまま単純に下水処理場から乾燥汚泥を直接出すというような状況ではないので、そういったことを踏まえながら、検討していければと思っております。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程6. 水道部関連終了</p> <p style="text-align: center;"><u>14時10分 休憩</u></p> <p style="text-align: center;">14時15分 再開</p>
<p>山下建設部長 山下管理課長 大林公園緑地課長 山下管理課長 大林公園緑地課長</p>	<p>●日程5. 建設部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>大雨について状況説明</p> <p>資料説明 ⑥生活環境改善要望対策事業（道路施設・公園施設）の対応状況について</p> <p>資料説明 ⑦恵庭市雪対策基本計画（第2次）について</p> <p>資料説明 ⑧都市公園における新たな取組について</p> <p>資料説明 ⑨街路樹の再生指針に基づく樹種の更新について</p> <p>資料説明 ⑩恵庭跨線橋補修工事について</p> <p>資料説明 ⑪島松駅周辺再整備事業について</p> <p>資料説明 ⑫千歳川流域における特定都市河川及び流域の指定について</p> <p>【質疑】</p>
<p>萩原土木課長 佐藤事業調整課長</p> <p>松島委員</p>	<p>① 資料⑧、(4) スケジュールで、令和6年度委員会でアンケート調査を実施、利用実態調査とありますが、どんな範囲でどう調査されるのか伺います。</p> <p>② 恵み野中央公園を考える会で構成の中で、学識経験者はこういった方になる</p>

大林公園緑地課長	<p>のか、幼稚園や学校の関係者ですが、教員なのか、保護者なのか伺います。</p> <p>① 公園のあり方検討委員会は、いくつかテーマを設け、公園の今後の方向性を検討する会です。例えば、この4つの中には公園のルール、今は一律のルールで公園を利用させていただいていますが、地域の特色に応じたルールづくりをしたらどうかとか、公園の樹木も将来的にどうするか、街区公園に設置されているトイレのあり方について、検討する予定です。アンケートは、トイレの利用の実態確認や、公園に対する思いを聞くような内容を想定しており、今年度1回目、2回目の委員会を行い、その中でどういう調査、アンケートが適してるか議論をし、最終的にどういうアンケートにするか決定したいと考えています。</p> <p>② 学識経験者は、大学の先生、この方はワークショップの議論に入らず、俯瞰的な立場でアドバイスをもらうことで考えています。幼稚園や学校も、参加者として想定しており、各団体にどなたか参加していただけませんかというように依頼をしており、例えば小学校の先生が出てくるところもあればPTAのところもある状況で、その団体ごとにふさわしい方を出していただいています。</p>
川 股 委 員	<p>① 資料⑩、一体的な工事、そして都市計画事業として行う。JRとの協議が今年の7月に承諾を得られたということで、6年度中には都市計画決定に向けて事務手続きを進めるということです。決定すれば、令和7年度までに事業認可を受けて早期に事業着手。7年度中にできると思っていますが、自由通路は、西口広場から上がって行くと、改札するには島松駅の正面まで行って販売機で買うと。上から降りてくことはできないと。今のところこの計画では、駅まで降りて行って、今までのように乗っていくということですね。あとは出来上がった後に、いろんな要望とか改修とか、そんな方法あるかと思っていますが、その辺りお考えがあれば伺います。</p>
佐藤事業調整課長	<p>① 従前からJR北海道に対し、そういう相談をしています。色よい返事をいただいております。現時点では、現計画のままで整備を図るということを進めることとなりますが、今後ともJR北海道に対し、どのような形で実現するかを相談しながら、実施設計の中で可能性を探っていきたいと思います。</p>
吉 永 委 員	<p>① 資料⑩、跨線橋補修工事で、期間がどれぐらい延びるのか。和光も跨線橋工事しており、長引くと市民生活に大きな影響を及ぼすといったところです。</p> <p>② コンクリートに起因する、固まるときのもので剥離するということですが、同じ頃に使われたコンクリート材で他に何か対象があるのか、もしあるとすればどういう対策をとるのかお伺いします。</p>
萩原土木課長	<p>① 今回、JR跨線部の部分の工事を施工しない、取りやめるという形で、全体の工事は、今、11月20日までの工期ですが、その中で延ばさないで終わらせますので、暫定的には5径間の処理をしながら、工期内で終わらせます。</p> <p>② 長寿命化計画に載っている137橋に対して、こういう事象が出ている部分はありません。恵庭跨線橋1橋になります。</p>
吉 永 委 員	<p>③ ①基本的にJRが走っている期間はできないと思います。和光の場合は、夜間、JRが走っていない期間に工事をしますが、今後の対策を伺います。</p>

萩原土木課長	③ 現状では、上部の作業により、下面で剥落が出てしまった。この対応は、下の部分は、下に落ちない対策を施す形になります。そうすると、JRの敷地内での工事が必要となり、JRでの施工をお願いする形、今後JR本社との設計協議を進め、その部分を実行していきたいんですが、JRとの協議、調整は時間がかかるので、現時点でいつまでという見通しは立っていません。今後、JRとの協議の進展がありましたら、報告したいと思います。
吉永委員	④ 3度目の通行止めがあるかどうか伺います。
萩原土木課長	④ JRとの協定を結んで、JR施工の工事となり、私たちが発注をしながら、恵庭跨線橋を再度工事することになると思います。その際は、今回と同じような形で、申し訳ありません、市民の方にご迷惑をかけますが、全面通行止めをしながら工事を実施したいと考えています。
柏野委員	① 資料⑨、ハシドイが市内には植えられていないということで、葉の分解と、モクセイ科ということで、臭いの部分で街路樹として適しているのか伺います。 ② 資料⑩、そもそもこれはいつの時点で分かったのか伺います。 ③ 去年の12月の経建の資料には、対策をしなかった場合は2年半前後で耐荷がなくなるという説明がありました。今、簡易的な対応をした場合は、どの程度加重が耐えられるようなものとなっていくのか伺います。
大林公園緑地課長	① ハシドイは街路樹として恵庭市は採用していませんが、採用している札幌市、苫小牧市に聞き取りをしており、両市とも苦情の少ない樹種という評価で、臭いも好意的に感じる方が多いということで、どちらの市からも高い評価を得ているということで、今回案に選定しています。
萩原土木課長	② 6月12日から現場を通行止めにし、工事に着手しました。その後、路面の切削の段階、7月に入ってから、その段階で剥落を確認しました。その後、床板のはつり作業時の7月に入って行って、写真に写っている部分で、細かい破片が落ちていたというのが、7月で分かった次第です。 ③ 橋梁の耐荷性の部分の今回の委員会の結果が出た部分、こちらの床板に対しての部分の水の供給を防ぐことが出来たら25年は持つのではないかという形が、委員会の中でもやっています。今の部分で水がそのまま入っている状態で、その部分を暫定的なもので、水を抑えられるような暫定的な対応しながら、2年半から延命化を図ろうと考えています。
柏野委員	④ ②7月の時点で分かっていたのであれば、前回の委員会でご報告いただくことができなかつたのかというのが気になりますが、今10月の段階だと、11月の工期ですから、もうどうにもならないのは分かりますが、もう少し早ければと思いますが、その点はどうか伺います。 ⑤ ③防水を暫定的にやることにより、長寿命化は可能なんですか。JRとの協議が整って進んで行けば、本当に可能ですか。またこれが、同じような状況が発生して、やはりできませんでしたということにならないのですか。ここまでくると、にわかには信じられませんが、大丈夫なのか伺います。
萩原土木課長	④ 確かに7月にわかって、その段階で工事をどのようにできるかという形の、私たち、施工業者、それから設計コンサルも含め、この間にはJR保線所も含め

<p>柏野委員</p>	<p>協議して、中止ではなく、やる方向でいろんな検討を重ねたところです。やはり今まで安全性を確保しながら工事を施工するのは難しいという判断を下したのが9月になりました。それで、今回の委員会で取り止めという形で報告させていただきました。時間が少し遅くなったのはそういう経緯になります。</p> <p>⑤ 先ほど25年と言いました。今回この工事、恵庭跨線橋が将来架け替える前提で動いている中、今防水対策を施しながら、25年間延ばして行って、延命化をしたいという形になります。25年先には架け替えるような形、現計画は進めているという形になりますので、架け替えを前提の補修工事になります。</p> <p>⑥ ⑤架け替え前提の補修工事ですが、25年使えるかどうかです。そういう状況が続けば、もう今の時点で判断をして、架け替えを決断した方がむしろいいのか、25年は使えるということで、それがちゃんと25年使える形でできるのか、こうしている間にも、年数が過ぎていきます。そうしたら、実際に2年遅れ、3年遅れとなった場合、実際使える期間が20年になってしまいますよね。だとしたら架け替えた方がいいのかというところの見解を伺います。</p>
<p>萩原土木課長</p>	<p>⑥ 確かに今、安全性を保って架け替えるのであれば、ベストかもしれません。ただ、架け替えとなった時に、恵庭跨線橋の状態で行きますと、基線通の戸磯跨線橋を架けたような形、橋自体を高くしないといけません。その部分をやり替える部分で、事業費や用地確保等を考えると、今すぐは難しいと考えています。そのためにも、今の現況の部分で、時期、架け替え計画も含めながら、じっくり検討するためには、25年先の延命化を考えて、ただそれが本当に25年持つのかというのは、今の段階では明確な回答はできませんが、25年を目指し、今後JRと協議しながら、補修工事を実施していきたいと考えています。</p>
<p>川原委員</p>	<p>① 資料⑫、恵庭市は特定都市河川の対象となる市町村に指定されていますが、これが指定されると、1,000㎡と土地の開発行為に対し、雨水の処理の制約がなされると思っており、1,000㎡となると、影響する場所が出てくるのではないかと、これから土地の流動化も、土地の使用の形態にもかかってくると、対策として、税制の援助がありそうなことが書いてありますが、大きく影響してくるが増えるかと思えます。改めてこの制度について、説明を願います。</p>
<p>佐藤事業調整課長</p>	<p>① 特定都市河川に指定され、流出抑制の措置が必要になりますが、新たに開発される土地の整備をする場合、要は畑のような土地から砂利を引いて締め固めるといった行為が対象になります。この場合は、指定された量の流出抑制または雨水浸透を図ることが求められます。恵庭市は山間部があまりないので、川になるべく水が出ないように処置をするというのがこの制度になります。川に直接出てしまうと、一気に川の水位が上がりますので、雨水を溜めたり、地下に浸透させて流出を遅らせるのが、この制度の基本になります。大規模な開発の場合は、今後北海道や国で補助事業等も検討されるかと思いますが、この制度は、千歳川流域の洪水対策計画がはっきり決まってから、どのような補助事業ができるか決まると思います。雨水貯留・浸透施設の民間支援も、計画が出来てから制度がはっきり見えてくると思います。</p>
<p>川原委員</p>	<p>② 対象となる行為、原野から資材置場、資材置場から駐車場へと、1,000㎡</p>

佐藤事業調整課長	<p>であれば、一反ぐらい、300坪ぐらいなので、結構恵庭には用地があると思います。また、太陽光等が、発電施設になりそうな場所です。そうすると浸透枵は必ずつけなさいとなるのですか。例えば、雨水枵とかに水を流せばいいのではなく、自分の土地の中で、浸透させる施設が必要となれば、これは市民の土地所有者に大きく関わってくると思いますが、その点について伺います。</p>
川原委員	<p>② 自分の土地の中に雨水浸透施設または貯留施設を整備することになります。8月31日の指定は義務付けられており、北海道で許認可を行う事になりますので、開発行為を行う時は、北海道に届け出が必要になります。これについては、今年2月から5月にかけて、委員会にも報告し、ホームページでも市民に対して周知しています。札幌開発建設部でもホームページ等で周知しています。</p>
佐藤事業調整課長	<p>③ 1,000㎡程度の土地で、資材置場にするとか、駐車場にするとか、許可が無いとできないという認識は市民は持っていないと思いますが、土地所有者が法律に基づいてできる仕組みになるのでしょうか。制度だけつくっても市民が知らないという気がしてなりません、トラブル防止の施策について伺います。</p>
	<p>③ 制度の周知は、かねてから1,000㎡以上の開発には都市計画法に基づく開発行為が必要となります。開発行為の窓口であるまちづくり推進課と下水道課、事業調整課で相談に対して、パンフレットを渡して、まず北海道に相談してほしいと案内しております。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p>
柏野委員	<p><b>【質疑】</b></p> <p>① 指定管理者のモニタリングが総務文教常任委員会で報告され、建設部では、都市公園緑地等の指定管理者の報告がありました。令和3年から元年の数値は、評価の点数が高いんですが、今年の実績を見ると、26点のB評価ではありますが、過去と比べると非常に下がっています。その要因について伺います</p> <p>② モニタリング調査報告書の130ページ、利用料金の収入実績が、令和3年と比べると、利用料金が大きく下がっていますが、その要因を伺います。</p> <p>③ モニタリング調査報告では、アンケートの回収件数が大きく伸びており、モニタリング評価報告でも評価ができるとされていて、設置公園数は、何ヶ所の公園で設置されているのか伺います。</p> <p>④ 昨年度のモニタリングシートで掲載されていた苦情、要望件数がなくなって、去年までは苦情、要望がどういった内容かがあったのですが、令和4年度の苦情、要望がどの程度あって、どういった内容なのか伺います。</p> <p>⑤ 市営住宅について、令和5年度の予算審議の中では、今年の予算で26戸の修繕の予定をしており、これまで6月と10月を合わせて21戸募集していますが、予算の執行状況を含めて、今年度内の今後の募集予定を伺います。</p> <p>⑥ 予算審査は、3月時点では市営住宅全体で118戸の空き住戸があるという答弁がありました。10月の募集分、11戸を募集かけていますが、全て応募</p>

<p>大林公園緑地課長</p>	<p>があって埋まった場合に市営住宅全体の空き戸数は何戸になるのか伺います。</p> <p>① モニタリングは、大項目で三つ、その中に各三つ小項目があり、小項目一つにつき5点となっており、満点が45点になります。また各5点の評価方法は、要求水準に合致して、仕様書のとおり実施された場合は3点となり、この5年間で一番高いのが、令和元年度で、元年度の32点と、令和4年度の26点を比較すると、仕様書通りに実施された場合は27点です。令和元年度は32点で、5点の加点要素があり、この加点は、自主事業として、恵庭公園を語る会を新たに設置し、指定管理者自らが恵庭公園の今後について検討する取組みをしたですとか、職員の研修が図られている、また、利用料が前年度に比べて伸びている、経費の削減があり、その経費を修繕に回し、効率的な維持管理が図られた等により5点の加点で、32点になります。一方、令和4年度の評価は、加点要素がありません。これはコロナの影響があり、利用者が伸びておらず、光熱費も高騰し、経費の削減で評価しづらいということもあります。また、減点項目が一つあり、指定管理業務中に管理人がケガをして、その作業マニュアル等整備してもらい、今後そのようなことがないよう対策は十分とっておりますが、ここで1点減点で、26点という評価になっています。</p> <p>② 令和3年度に桜町多目的広場で大規模な、単発のイベントがあり、この収入で70万円ほどあります。それがなくなり、利用料金が減になっています。</p> <p>③ これまでは公園に紙を置き、書いてもらうという方法でしたが、令和4年度よりWEBを使ったアンケートに切替えています。アンケートを置いている公園は変わりませんが、総合公園と地区公園、大きな公園です。こういった公園に数か所、公園は大きいので、今はQRコードなど立札を立てるような形で置いており、利用者からアンケートを募っています。</p> <p>④ 令和4年度の苦情件数は275件、前年度から44件の増です。苦情内容は、前年度と大きな変化はありませんが、公園柱に関するもの、遊具が古くなってきたことに起因する、例えば遊具の使用禁止とかが非常に多いという状況です。</p>
<p>栗野市営住宅課長</p>	<p>⑤ 今年度の募集件数は、予算では26戸、今現在10月募集までに21戸募集しようとしています。今後2月募集も残っていますが、2月募集は、10月募集分の修繕経費がまだ確定はしていませんが、それを確定していない段階ですが、あと6戸程度は募集を行うことができると見込んでいます。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>⑥ 空き家は、10月募集分が全て入ったと仮定しますと、99戸になります。</p> <p>公園に関して、市民意見の把握に努めていることは非常に評価ができます。それで過去との比較で大きく下がってはいるものの、コロナの影響で実施事業の取組みですとかできなくなっている部分が多いように感じ、そういった部分では令和5年度からはまた以前のように、高い評価となるように所管課の方もしっかりとチェックをしていただきながら進めていただければと思います。</p> <p>⑦ ③モニタリングで133ページ、個別の調査票、個別のご意見も見ることができますが、トイレを新しくしてほしい、日陰がもう少し欲しいというところが、どこの公園でそういったニーズがあるのかがわかりづらく、こういった部分のクロス集計などがあって、どこの公園でこういった声があるのかがわかると、実際に委員会としても現地調査を行った上で、改善を求めていくことがで</p>

<p>大林公園緑地課長</p> <p>栗野市営住宅課長</p>	<p>きると思いますので、そういった工夫も今後はいただければと思います。苦情は大きな変化はないとのことですが、昨年と比べて44件苦情が増えているということであれば、そういった傾向についてはぜひとも見せていただくと、モニタリング評価していく上では非常に参考になるとと思いますので、今後掲載をしていただけるようお願いしたいと思います。お考えがあれば伺います。</p> <p>⑧ ⑥市営住宅で、3月の時点で、低層階の空きは1階が11戸、2階が21戸でした。近年の傾向としては低層階は修繕費が高く、なかなか出せないとのことでしたが、今回10月の募集では、3部屋出しており、そこはいいなと思いますが、99件の中で1階、2階の空き部屋は何戸残っているのか伺います。</p> <p>⑦ 来年度以降のモニタリングについて、アンケートのクロス集計とか、苦情の内訳も表示できるように検討したいと思います。</p>
<p>吉永委員</p>	<p>⑧ 99戸中、1階の空き家3戸、2階も同じく3戸になります。</p> <p>① 公園のトイレで、4月から11月までは公園のトイレが使えますが、冬季は12月から3月全ての公園のトイレが閉まるといったところで、せめて総合公園とか都市公園とか、拠点だけでも、こことこの地域はこの公園、この地域はこの公園というふうに、冬季でもやってる公園がないと、軽犯罪法を犯して、用便してしまうと、もしくはコンビニを探すといった状況があると思うんですが、この辺のお考えを伺います。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>① 冬季間、開けている公園のトイレはあり、例えば恵庭ふるさと公園、中島公園のトイレ、それから我々の管理している緑地の中にあるサッポロビール庭園駅のトイレは冬期間も開放しています。HPでも、冬も使える公園を表示して周知を図っていますので、ぜひ利用していただければと思います。</p>
<p>早坂委員</p>	<p>① 公園の除草で、業者が年に何回か草刈りはしていますが、除草剤を使って草を刈らすことはあるんでしょうか</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>① 指定管理者が主に除草をしています、年に3回、多いところでは7回くらいやっています。除草剤等での作業は一切ありません。</p>
<p>早坂委員</p>	<p>② 除草剤を撒いて、例えば歩道みたいなところの草を枯らすというのも大事だと思いますが、その点について伺います。公園の中にある歩道とか、そこに草が生えて、これを枯らさないと大変なことになると、せっかくきれいに造った歩道も年々草が生えて歩道らしくなくなっているところが散見されます。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>② 公園内の園道の除草ですが、基本的に公園内は、例えば小さなお子様が行って、土を手で触れたりとか、犬の散歩をする方もいますので、基本的に除草剤は使用しないで管理するというので、取組んでいます。</p>
<p>早坂委員</p>	<p>③ 私の家の前に噴水公園という漁川の河川敷の公園があります。レンガみたいなのを並べて作った歩道もありますが、年々草が生え、歩道らしくないところがあり、そういうところはやはり除草剤をまいた方がいいと思いますが、に弊害もあるということですが、その点の整備についてはどう考えているか伺います。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>③ 例えば、インターロッキングブロックを過去に敷いて、目地の部分から草が生えて、なかなか管理が回っていないという実態は我々も把握しています。除</p>

<p>栗野市営住宅課長</p>	<p>草剤を使わないでそういったものを取り除く方法がないかということで、例えば先進的な取り組みで言いますと、温水をかけて草の根を殺すという方法があったりとか、いろいろな方法が提案されていますが、どれも一長一短というのが現状です。基本的には除草剤を使わない管理の仕方でも皆様にも満足していただけるような園路、公園の維持管理に努めたいと考えております。</p> <p>すいません。先ほど柏野委員の2回目のご質問の答弁が一部誤っておりましたので訂正させていただきます。</p> <p>99戸中、1階の空き家は6戸で、このうち単身が3戸、2階は12戸ありまして、このうち単身が3戸となっています。大変失礼いたしました。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程5. 建設部関連終了</p> <p>(理事者・執行部退席)</p> <p>●日程7. 閉会中の所管事務調査項目について</p> <p>陳情第7号 ルルマップパークゴルフ場に係る土地利用計画の見直しを求める陳情書についての継続審査</p> <p>●日程8. その他</p> <p>なし</p> <p>日程8. その他 終了</p> <p>委員長が閉会を告げる</p> <p>(15時29分 終了)</p>
-----------------	--